



北米最大手

商用車フルメンテナンスリース・レンタル・ロジスティクス事業会社

Penske Truck Leasing Co.,L.P.(“PTL”)

持分追加取得

2017年9月8日
三井物産株式会社



案件主要点

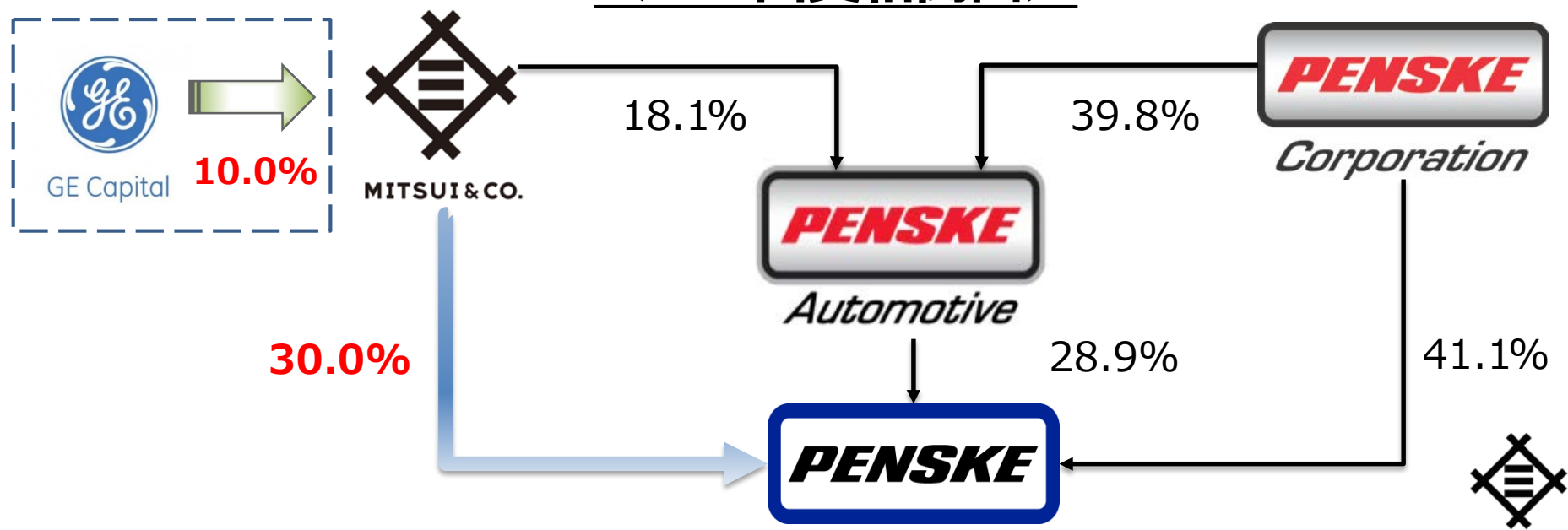
1. 案件概要
2. 北米商用車/デジタルスティックス市場の環境認識
3. PTL概要 / PTL競争優位性
4. 三井物産による企業価値貢献
5. Penskeグループとの重層的な取組

1. 案件概要

北米最大手商用車メンテナンス・レール・ディストリクス事業会社PTLに於ける
当社持分を20%から30%に引き上げるもの。

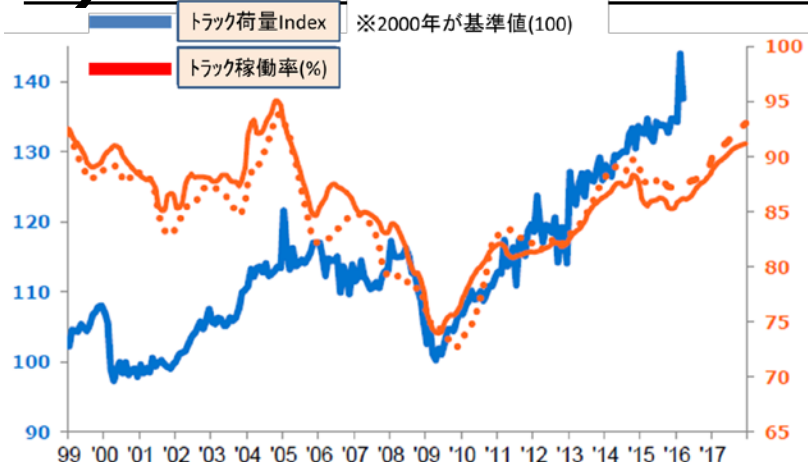
追加取得持分	10%(当社持分トータル 30%)
当社出資金額	約435百万ドル(480億円相当)
出資実行時期	2017年9月7日(実行済)

<PTL出資相関図>



2. 北米商用車/ロジスティクス市場の環境認識

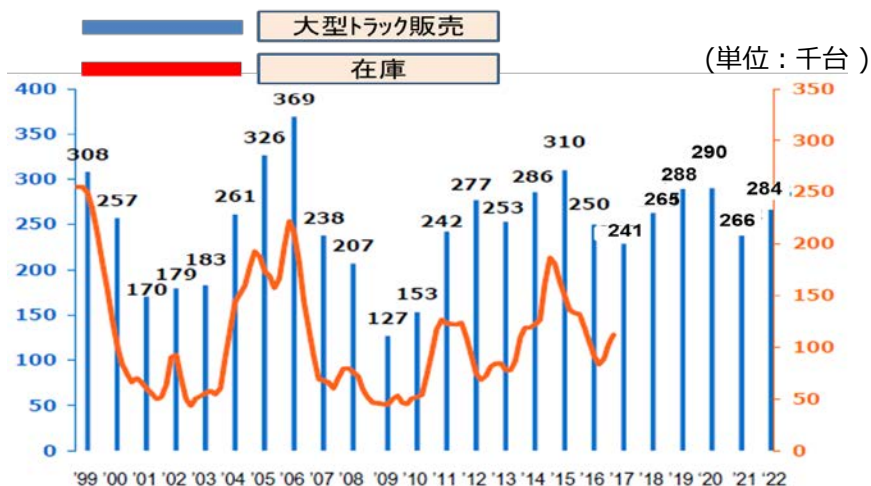
A) 北米トラック荷量・稼働率推移



- トラック荷量は2027年には2016年比27%増と予想されている(年間平均2%成長)。
トラック稼働率もリーマンショック前水準に到達。

(出典：American Trucking Associations)

B) 大型トラック販売台数・在庫推移

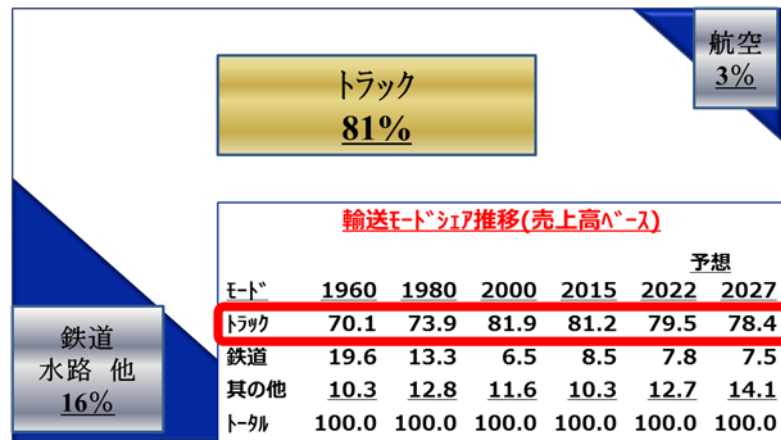


(出典：American Trucking Associations)

- 大型トラック販売台数及びメーカー在庫も通常レベルに落ち着きつつある。

2. 北米商用車/ロジスティクス市場の環境認識

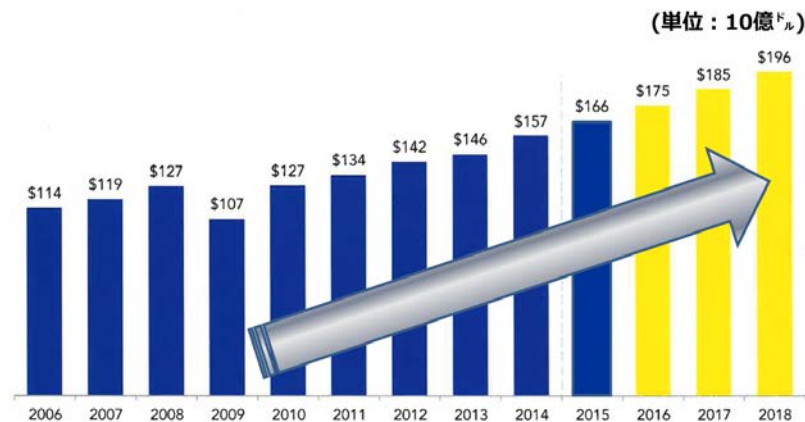
C) 北米輸送モードシェア



(出典 : American Trucking Associations)

- 輸送モード(売上高ベース)でトラック輸送の占める割合は81%。中長期的にみても輸送モード比率に大きな変動はなく、主流は変わらずトラック輸送と予想されている。

D) 米国3PL市場



(出典 : Armstrong & Associates Inc.)

- 米国経済の回復に伴い米国3PL (3rd Party Logistics)市場規模も拡大、2016年実績1,750億ドル。大企業中心にコア事業集中・ロジ機能アウトソースの流れは加速。

3. PTL概要/PTL競争優位性

設立 / 所在地	1969年 / 米国 ペンシルバニア州
代表者氏名/役職	ブライアン ハート / President & CEO
売上高	約64億ドル
格付	S&P:BBB / Moody's:Baa2

フルメンテナンス リース

- 法人向けトラックリース事業
- 約700ヶ所超の在米自社サービスショップ°を通じて、修理・給油等のメンテナンスも行うフルパッケージサービス。

コトラクト メンテナンス

- 顧客が保有する機材に対するメンテナンスサービス
- 高度なメンテナンスサービスを通じ、顧客トラックの稼働時間と資産価値を最大化

トラック レンタル

- 法人向け並びに個人向けの短期レンタル。
- 法人向け:顧客の多様な輸送ニーズ°に対応可能。
- 個人向け:近距離での引越等、様々な用途向けにトラックを提供

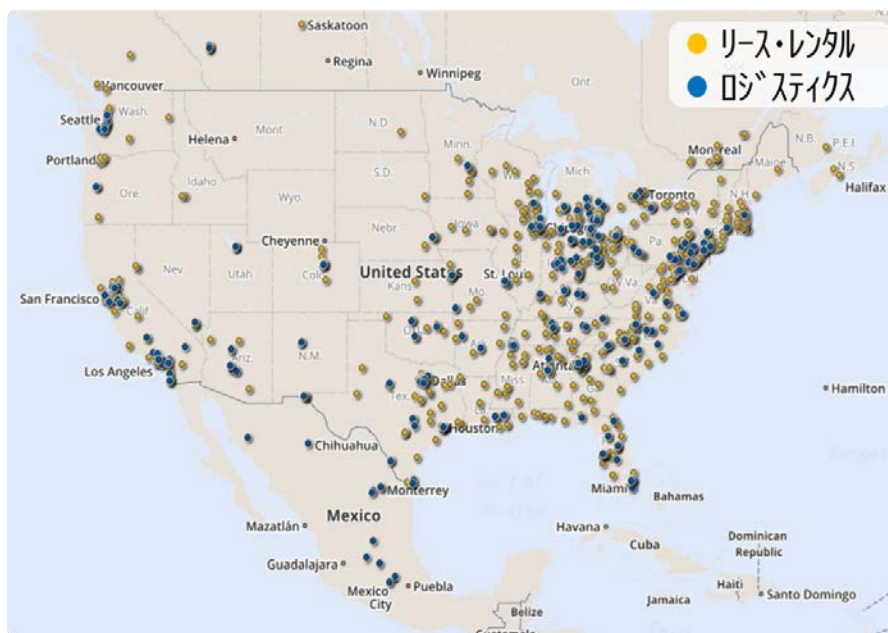
ロジスティクス

- 顧客が抱える複雑なサプライチェーン・物流ニーズ°に具体的な解決策を提供

3. PTL概要/PTL競争優位性

A) PTLホ°ジショニング

- PTL は北米及び豪州で25万台超の車両を保有・管理。
- 子会社のPenske Logisticsは、北米、南米、西欧諸国、アジアに於ける360ヶ所超の拠点を通じ、ロジスティクス事業を展開。



- PTLは北米において約3,000の営業拠点と約700のサービス拠点を有す。幅広く顧客との“Touch Point (直接的接点)”を持つことが強み。

3. PTL概要/PTL競争優位性

B) 成長機会

- リース市場裾野拡大に加え、トラック装備・技術の高度化がリースへの切替を後押し。
- 又、米国では安全規制強化の傾向有、投資余力のない中小経営主が淘汰されることも予測され、PTLには大きな成長機会と成り得る。



4. 三井物産による企業価値貢献

リース・レンタル・ロジスティクス

- 関係会社・パートナー企業向け輸送コスト低減、物流インフラ効率化
- 日系・アジア地域顧客開拓

事業開拓

- PTL事業補強に資する案件の共同発掘
- PTL事業ノウハウを活用した当社既存商用車事業の拡大(海外展開含)

PENSKE

IoT

- 車両コンディション関連データを遠隔収集してBig Data分析
- 予測整備をより高度化する為の要素技術の紹介

新技術

- 運転手不足・排ガス削減への取組みとしての隊列走行技術等、当社パートナー企業を通じた新技術機会の提供

5. Penskeグループとの重層的な取組

A) Penskeグループとの関係

- Penske Corporation(“PC” 非公開会社)は傘下企業を通じ、乗用車・商用車ディーラー事業、トラック・ディーゼルエンジン卸売事業、商用車フルメンテナンス・レンタル・ロジスティクス事業、モータースポーツ(レーシング)等 自動車・輸送領域に於いて多岐に亘る事業を展開中。
- 2001年、当社はPC傘下の Penske Automotive Group, Inc. (“PAG” ニューヨーク証券取引所上場、中核事業は乗用車・商用車ディーラー事業)に出資参画。その後段階的に出資比率を上げ、現在は第二株主として18.1%相当持分保有(PC 39.8%保有)。
- 2015年、当社はPTLへ20%出資参画。PAGでの戦略的提携を通じ、PCと強固なパートナーシップを培い、PTLへの出資参画機会を得たもの。



5. Penskeグループとの重層的な取組

B) 位置付け

- PTLへの出資参画を通じ、新事業領域である商用車リース・レンタル事業への進出を実現。又、成長性、安定性、収益性の何れの観点からも魅力的な北米市場に新たなプラットフォームを獲得。
 - PAGは中核のディーラー事業に加え、商用車・ディーゼルエンジン事業等事業領域を拡大、又海外展開も推進。国際総合輸送事業体への業態変革を進め、輸送という切り口で地域と事業領域の両面に広範に網を掛け成長を企図。当社はプラットフォームたるPAGを通じ、あらゆる自動車事業領域、バリューチェーンにリーチ可能。
- PTL並びにPAGの全米でのネットワークを活用し、モビリティ事業領域に於ける新たなトレンドを常に取り込み、持続的に進化する事業体としての発展に寄与する。
 - 又、PTL/PAG事業ノウハウを全社的に共有し同時に当社モビリティ事業のフロント開発の基盤とする。

360° business innovation.



MITSUI & CO.